

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第5区分
【発行日】令和6年6月4日(2024.6.4)

【公開番号】特開2023-111684(P2023-111684A)
【公開日】令和5年8月10日(2023.8.10)
【年通号数】公開公報(特許)2023-150
【出願番号】特願2022-13660(P2022-13660)
【国際特許分類】

B 6 2 M 6/55(2010.01)

B 6 2 M 6/45(2010.01)

B 6 2 J 45/00(2020.01)

B 6 2 J 50/22(2020.01)

【F I】

B 6 2 M 6/55

B 6 2 M 6/45

B 6 2 J 45/00

B 6 2 J 50/22

【手続補正書】

【提出日】令和6年5月27日(2024.5.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

【図1】実施形態の人力駆動車用のコンポーネントおよび人力駆動車用の外付けユニットを含む人力駆動車の側面図である。

【図2】図1の人力駆動車用のコンポーネントおよび人力駆動車用の外付けユニットを含む人力駆動車の電氣的な構成を示すブロック図である。

【図3】図1のドライブユニットの第1側面図である。

【図4】図1のドライブユニットの第2側面図である。

【図5】図3のD5-D5線に沿う断面図である。

【図6】図4の人力駆動車用の外付けユニット、および、人力駆動車用の外付けユニットが取り付けられる人力駆動車用のコンポーネントのハウジング、凹部、カバー部材、電気コネクタ、および、通信ユニットを示す断面図である。

【図7】図2の制御部が行う電気部品の機能を制限する制御のフローチャートである。

【図8】第1変更例の人力駆動車用のコンポーネント、および、人力駆動車用の外付けユニットを含む人力駆動車の電氣的な構成を示すブロック図である。

【図9】図8の制御部が行う電気部品の機能を制限する制御のフローチャートである。

【図10】第2変更例の通信ユニットの電氣的な構成を示すブロック図である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0060

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0060】

例えば、第2減速部分74は、電気モータ60と、第1減速部分72との間に設けられる。例えば、第2減速部分74は、第3歯車74Aと、第2回転軸74Bと、第4歯車7

10

20

30

40

50

4 C と、を含む。例えば、第 3 歯車 7 4 A の直径は、第 4 歯車 7 4 C の直径よりも大きい。例えば、第 3 歯車 7 4 A は、第 1 回転軸 7 2 B に設けられる。例えば、第 3 歯車 7 4 A は、第 1 回転軸 7 2 B の第 5 端部 7 2 E に設けられる。例えば、第 3 歯車 7 4 A は、第 1 回転軸 7 2 B と一体に回転するように構成される。例えば、第 3 歯車 7 4 A の直径は、第 2 歯車 7 2 C の直径よりも大きい。例えば、第 3 歯車 7 4 A と、第 1 回転軸 7 2 B とは、別体に形成され、相対回転不能に取り付けられる。第 3 歯車 7 4 A と、第 1 回転軸 7 2 B とは、一体に形成されてもよい。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0089

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0089】

例えば、制御部 5 4 は、クランク回転状態検出部 7 8 B によって検出されるクランク軸 2 0 の回転速度 C に応じて電気モータ 6 0 を制御するように構成される。例えば、制御部 5 4 は、車速検出部 7 8 C によって検出される車輪 1 2 の回転速度に応じて電気モータ 6 0 を制御するように構成される。制御部 5 4 は、ドライブユニット 5 0 A の外部から送信される情報に応じて電気モータ 6 0 を駆動するように構成されてもよい。ドライブユニット 5 0 A の外部から送信される情報は、操作装置 5 0 J の操作信号を含んでいてもよい。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0121

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0121】

・取付部 5 2 M に通信ユニット 9 2 が取り付けられていない場合、制御部 5 4 は、電気部品 5 8 の機能を制限するように構成されてもよい。例えば、取付部 5 2 M に通信ユニット 9 2 が取り付けられていない場合は、取付部 5 2 M に、電気コネクタ 5 6 A を介して通信ユニット 9 2 が取り付けられていない場合を含む。例えば、制御部 5 4 は、図 7 のフローチャートのステップ S 1 1 において、コンポーネント 5 0 に通信ユニット 9 2 が接続されていない場合、ステップ S 1 3 に移行するように構成されてもよい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

10

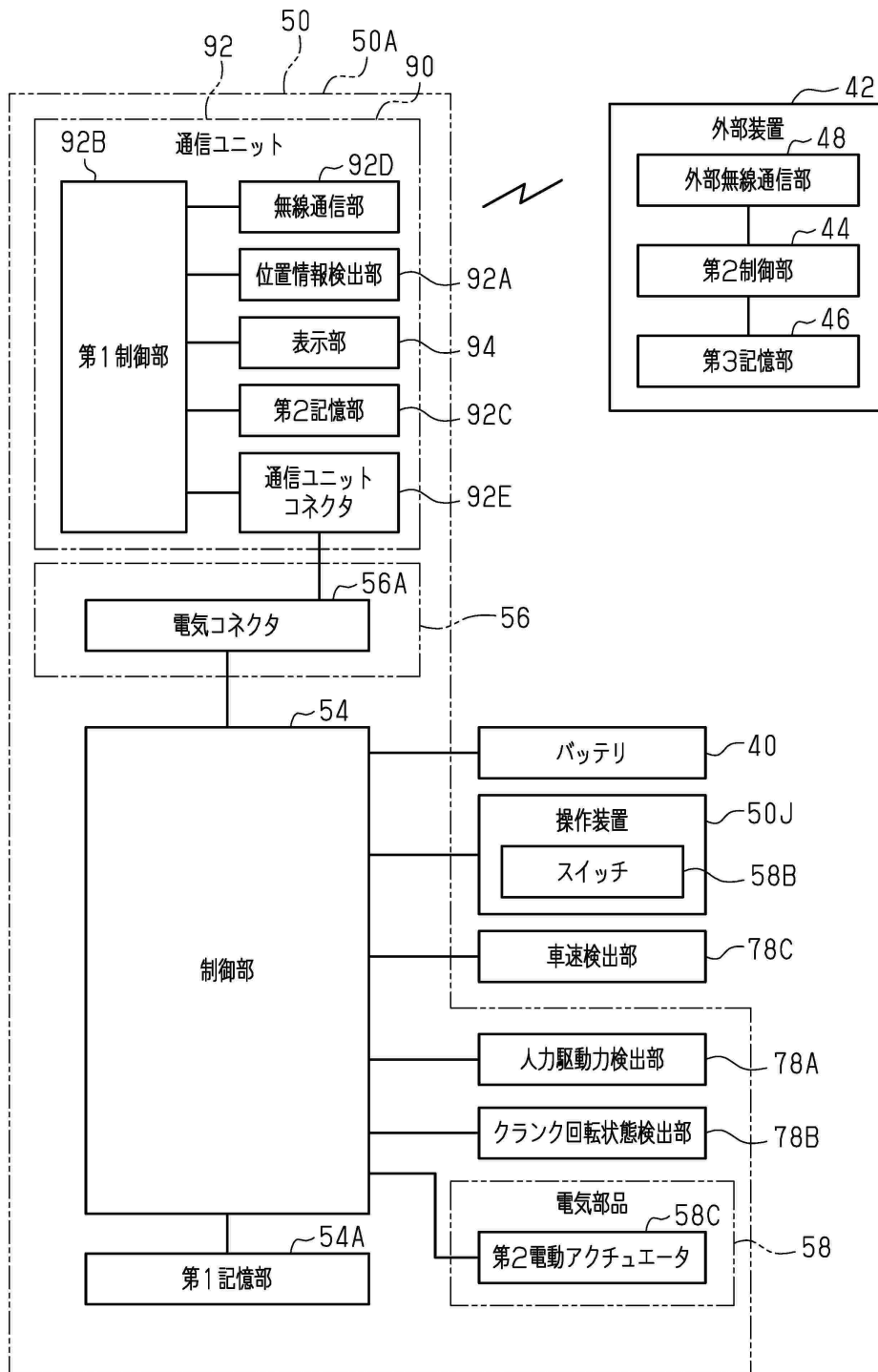
20

30

40

50

【図 8】



10

20

30

40

50